

小学校国語B (主として「活用」に関する問題)

平成28年度
全国学力・学習状況調査

問題の趣旨

国語に関する学習内容のうち、身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力について調べる問題です。調べ学習や報告文づくりなどの身近な場面をとおして、まとめる、比べる、文章と図・表を関連づける、自分の考えを持つ、表現するなどの問題が出題されています。

全体の正答率

* 平均正答率とは、ひとりひとりの児童生徒の正答率(全設問のうち何%の設問に正答したか)を平均したものです。

平均正答率は全国と比較して
0.3%上回っています

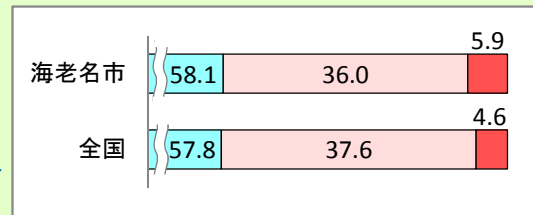
《平均正答率(%)》

	海老名市	神奈川県	全国	全国との比較
国語B	58.1	58.2	57.8	+0.3

誤答の様子は…

《誤答の内訳(%)》

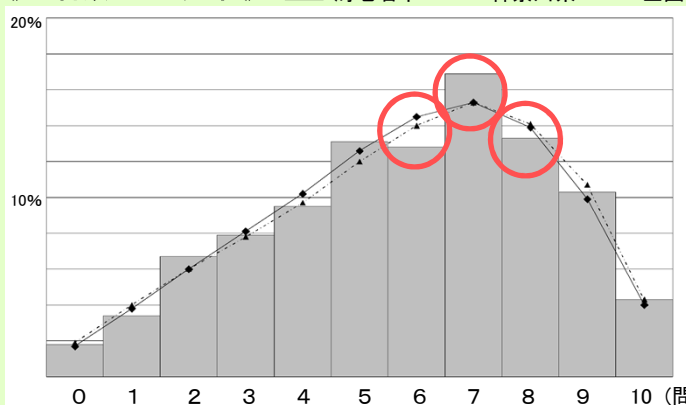
■ 正答 ■ 誤答(書いたが不正解だった)
■ 無解答(何も書かなかった)



無解答率(何も書かなかった)は5.9%でした。

分布の様子は…

《正答数による分布》



全国と比較すると
正答数が7問の児童が特に多く
6問、8問の児童が少ない
ことがわかります

* 正答率50%以下(0~5問)の児童の割合は
42.4%でした。(全国は42.3%)

* 正答率80%以上(8~10問)の児童の割合は
27.8%でした。(全国は27.8%)

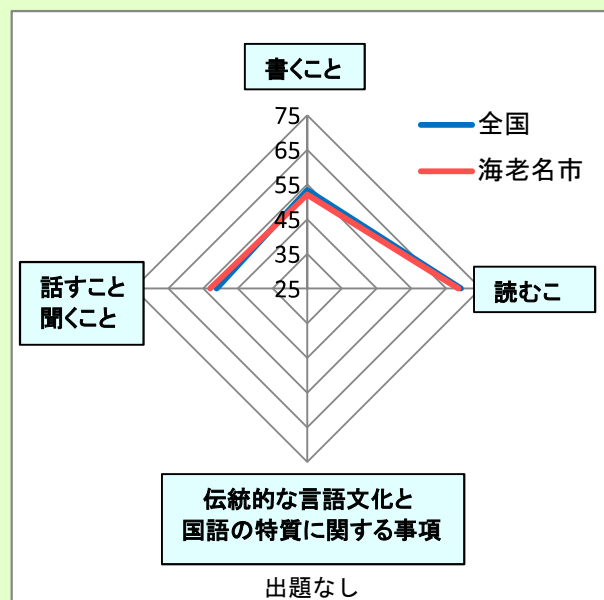
領域別の正答率

「話すこと・聞くこと」が
全国をやや上回っています

	海老名市	全国	全国との比較
話すこと・聞くこと	53.0	51.1	+1.9
書くこと	52.1	53.4	-1.3
読むこと	68.5	69.3	-0.8
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	この領域は今年度出題なし		

* 「話すこと・聞くこと」については、1.9%上回っていました。

* 「書くこと」「読むこと」については、1.0%程度下回っていました。



内容について

* ()内は、平均正答率の全国との比較

全国を上回った
設問

- インタビューするための準備のメモについて工夫した点を選ぶ。(+5.6)
- インタビューの中の質問について、質問者の意図を選ぶ。(+2.0)
- 調べ学習の資料について、何が知りたくてその資料を使ったか選ぶ。(+1.6)

全国を下回った
設問

- パン職人の仕事について、条件にあわせて40字以上60字以内で書く。(−5.2)
- インタビューの内容を読んで、次の質問を30字以上50字以内で書く。(−1.8)
- ある報告文を読んで、グラフからわかる課題を条件にあわせて30字以上50字以内で書く。(−1.4)

国語Bで平均正答率が全国を下回った設問の例

目的に応じて、読んだ資料をまとめる設問 (全国との比較−5.2%)

*【資料2】(パン職人について書かれた本のインタビューのページ)を読んで

【資料2】を読み直しながら、紹介したいことをメモにまとめています。次の【資料2をもとにしたメモの一部】の「 」の中に入る内容を、あとの条件に合わせて書きましよう。

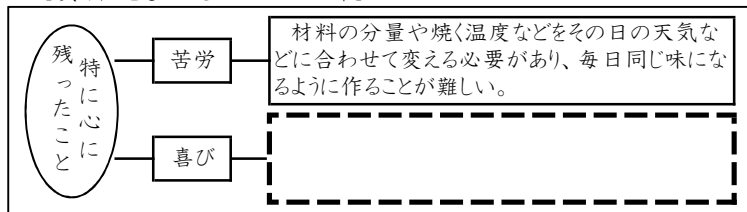
【特に心に残ったこと】

毎日、天気に関わらず同じ味になるように作るのは、とても難しいことだけれど、お客さんが喜んでくれた時には、やりがいを感じることができるんだな。



谷口さん

【資料2をもとにしたメモの一部】



- 〈条件〉
- 谷口さんの【特に心に残ったこと】が伝わるように書くこと。
 - 【資料2】から取り上げて書くこと。
 - 四十字以上、六十字以内で書くこと。

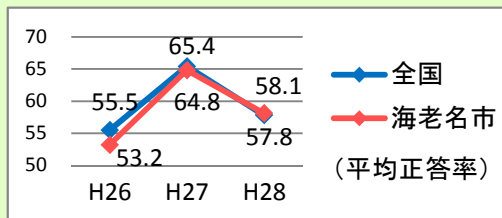
正答は省略

☆国語Bのすべての設問は、国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。

考察

- ◆ 全国と比べて、正答数が7問の児童が多く、6問の児童が少ないことから、基礎的な力を生かして問題を解決する力が身につけてきている。
- ◆ 「話すこと・聞くこと」の領域については、全国と比べて平均正答率が高く、目的に応じた的確に質問する力が身につけている。
- ◆ 記述式の問題の正答率が低いことから、目的や条件に合わせて自分の考えをまとめることに課題が見られる。

これまでとの比較



◆ 平成27年度は全国との差が縮まり、平成28年度は全国を上回った。

◆ 「話すこと・聞くこと」については、平成26年度、平成28年度ともに全国を上回っている。(平成27年度はその領域の出題なし)

指導の改善にむけて

- ◆ 「書くことの力を高める」ために
 - 目的や定められた字数などの条件にあわせて、自分の考えをまとめて文章を書くことを指導する。
- ◆ 「読むことの力を高める」ために
 - 教科横断的に、選んだ複数の資料から目的にあわせて内容を的確にとらえ、まとめる活動を取り入れ、指導する。